

平成19年8月21日

教員各位

理事・副学長（研究担当）

下河邊 明

### Tokyo Tech Research Repository の利用依頼

学内の学術研究論文等の蓄積・発信を行うことを目的とした、T2R2 (Tokyo Tech Research Repository) システムが、2007年8月31日（金）より、全学の教員、研究者、学生から利用可能となりましたので活発に利用してください。加えて、関係する研究者、学生にも周知をお願いします。

詳細に関しては、添付資料及びホームページ(<http://t2r2.star.titech.ac.jp/what.html>)を参照してください。

以上

(添付資料)

## Tokyo Tech Research Repository の利用依頼

東京工業大学における教育・研究活動の産物である多様な知識資源の体系的な蓄積と発信を目指す Tokyo Tech STAR (Science and Technology Academic Repository) の一つの柱として、学内の学術研究論文等の蓄積・発信を行うことを目的とした、T2R2 (Tokyo Tech Research Repository) システムを開発してきましたが、2007年8月31日(金)より、全学の教員、研究員、学生にご利用頂くことが可能となりました。

これまで研究者情報システムに業績情報の登録をお願いしてきましたが、今後、著書・論文情報の登録は全て T2R2 システムに移行します。これに伴い、研究者情報システムにおいて著書・論文入力ができなくなりますが、これまでに入力された全データは自動的に移行され、再入力する必要はありません。T2R2 システムでは、研究者情報システムに比べて少ない労力で入力できる上、入力したデータを様々な有効利用ができるようになります。以下、T2R2 システムの特徴を簡単に紹介致します。

### 《登録情報の共有ができます》

研究者情報システムでは研究者毎に著書・論文等を管理していたのに対し、T2R2 システムでは著書・論文毎に研究者と関連付けて管理するところが異なります。つまり、共著者の一人が入力すれば、他の研究者は入力すること無くその情報を利用すること、すなわち「登録情報の共有」ができます。

### 《科研申請書出力など多様な出力ができます》

登録した内容は、公開検索ページから様々な検索機能を使って検索できるだけでなく、個人の科研の申請書や報告書、業績リストに利用できるフォーマットで出力します。特に科研申請書出力では、代表者、分担者の区別を付けて出力することができます。また、登録された内容はそのまま従来の東工大業績一覧や研究者総覧、研究開発支援総合ディレクトリ (ReaD) 等の著書・論文リストにも利用します。

さらに、COE やイノベーション研究推進体、科研のグループなどの研究プロジェクトや組織に関連づけて登録することで、プロジェクトや組織単位の報告書等にも利用できるようになります。個人やプロジェクト、組織の Web ページからのリアルタイムな業績発信ができるような Web の連携も可能です (Web サービスとして連携し、クライアントサンプルも提供します)。

《多様で簡便な入力ができます》

東工大認証システムを介しているため、東工大 IC カードで利用することにより、個人の情報をその度に入力する必要はありません。共著者に関しても、同様です。また、補佐員等を入力代行者として登録することも可能です。さらに、CSV ファイルによる一括入力機能もサポートします。

以上に加え、pdf で論文本体を登録すれば、(完全ではありませんが) pdf から論文名や著者名等を自動的に抽出することができるなど、登録のための労力を少しでも軽くする工夫がされています。なお、pdf による論文本体の外部公開に関しては、著作権上で問題の無いことが判明している学会以外は、公開しないような工夫もされています。また、学協会が独自に管理する論文データベースを持つ場合には、その公開ページのリンク情報を登録することもできますので、そちらから論文をダウンロードするように指示することもできます。

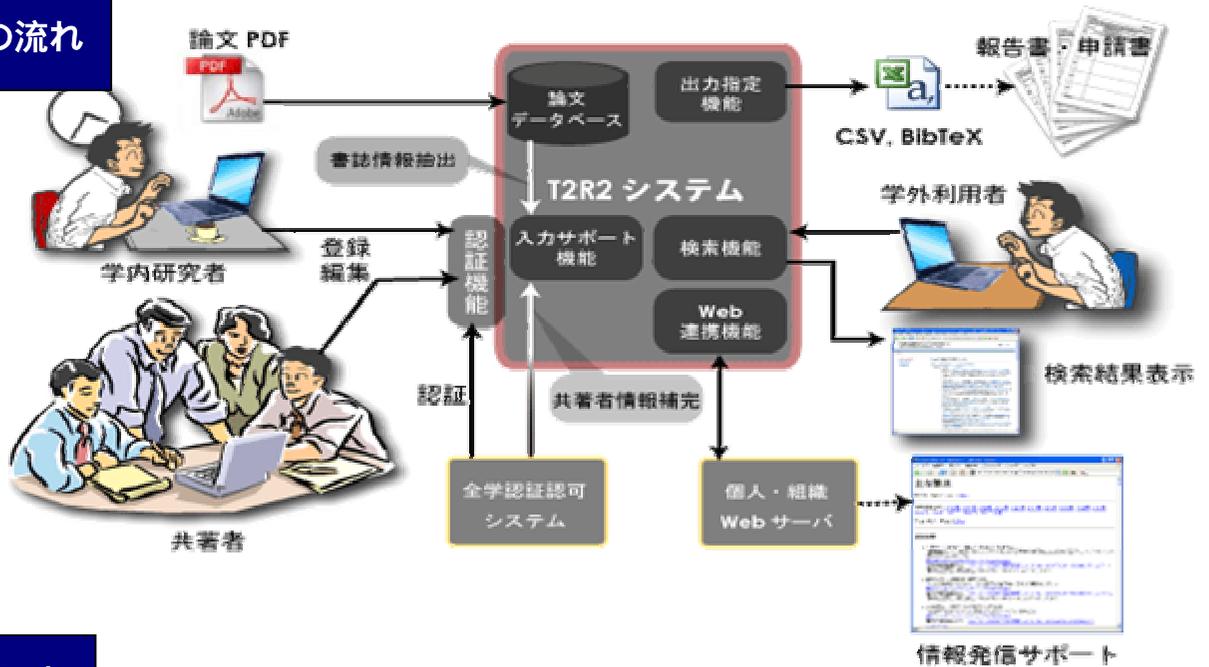
T2R2 は、Tokyo Tech Portal (<http://portal.titech.ac.jp/>) から東工大 IC カード認証もしくはマトリクス認証によってログインすることで、T2R2 システムの学内専用ページにアクセスすることができます。また、検索ページは学内外の利用者からオープンでアクセスすることができるようになっています。公開検索ページの URL は、<http://t2r2.star.titech.ac.jp/> です。

T2R2 の内容については、<http://t2r2.star.titech.ac.jp/what.html> にも記載してありますので、ご参照下さい。また、質問、コメント、不具合の報告等は、[t2r2@libra.titech.ac.jp](mailto:t2r2@libra.titech.ac.jp)までメールでお願いします。

(担当：リサーチリポジトリ WG 主査 横田治夫)

T2R2(Tokyo Tech Research Repository)システムは、東京工業大学における教育・研究活動の産物である多様な知識資源の体系的な蓄積と発信をめざすTokyo Tech STARの柱の1つであるResearch Repository構築のため、学内の学術研究論文等の一元的な蓄積・管理・発信を目的としたシステムです。

### T2R2利用の流れ



### 登録のメリット

#### そろそろ何とかしませんか？

- ・情報化で効率化するはずの作業がなぜか煩雑化の一方
- ・同じような入力作業の不毛なくりかえし
  - 個人用業績リストの作成
  - 科研費・業績評価等、各種報告書類に求められる論文リストの作成
  - 研究室Webページの業績リストの作成・更新

**T2R2がそんな面倒な作業を強力にサポートします。**

### T2R2の特徴

#### 登録情報の共有

論文毎に研究者と関連付けて管理するため、共著者一人の入力で情報を共有

#### 多様な出力

検索機能を使い抽出したデータを個人の科研の申請書や報告書、業績リストに利用

#### 多様で簡便な入力

東工大認証システムを介し登録、論文本体の外部公開には著作権の確認情報を提供

学内外向け検索サイトの公開

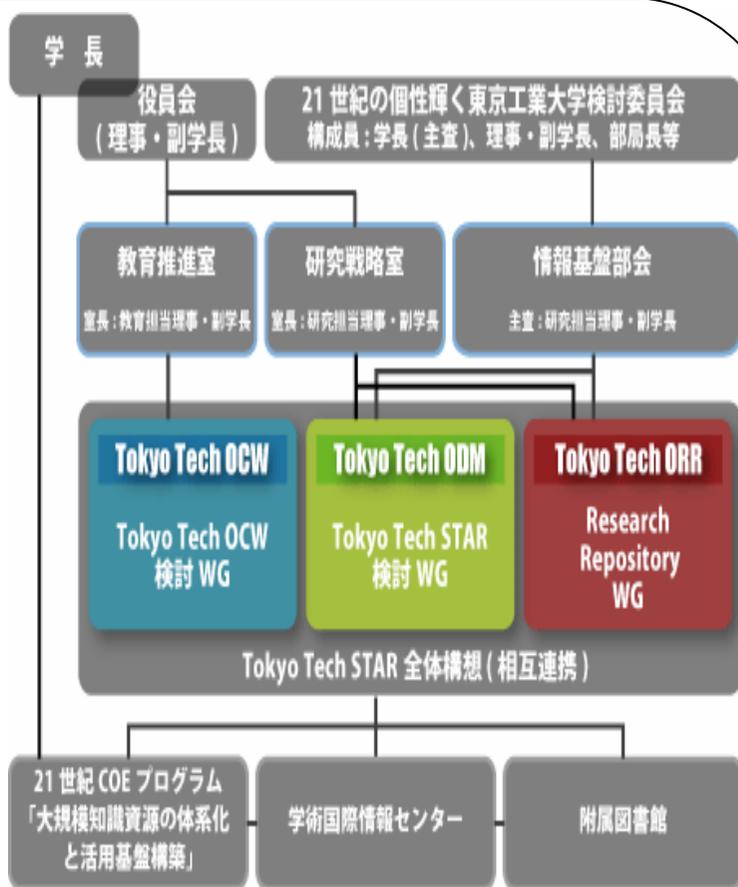
大学管理のサーバによるデータの永続的保存

## 学内体制

T2R2システムは、**Tokyo Tech ORR**構築ためのシステムです。

東京工業大学の**機関リポジトリ**は、研究担当理事・副学長を主査とする「21世紀の個性輝く東京工業大学検討委員会情報基盤部会」の下に設置された、**Tokyo Tech STAR (Science and Technology Academic Repository)**構想として位置づけられています。

**Tokyo Tech ORR**は、**Tokyo Tech STAR**を構成する三本柱の一つとして学内の学術論文等の一元的蓄積、管理、発信の役割を担っています。



## T2R2への登録

Tokyo Tech Portal (<http://portal.titech.ac.jp/>) から東工大ICカード認証もしくはマトリクス認証でお入り頂くことで、T2R2 システムの学内専用ページにアクセス  
メニュー画面で「東工大リサーチリポジトリ(T2R2)」を選択

## T2R2の公開ページ

公開検索ページの URL は、<http://t2r2.star.titech.ac.jp/>

## 研究者情報システムへの入力とは？

著書・論文データはT2R2に入力をお願いします。これまで研究者情報システムに登録されていた著書・論文情報は全てT2R2に移行します。これにともない、研究者情報システムの著書・論文入力はできなくなります。